

8－2 中国・四国地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国 土 地 理 院
Geographical Survey Institute

第1図は、中国地方日本海側の米子市～温泉町間の路線の水準測量結果である。最近の10年間で大きな変動はない。

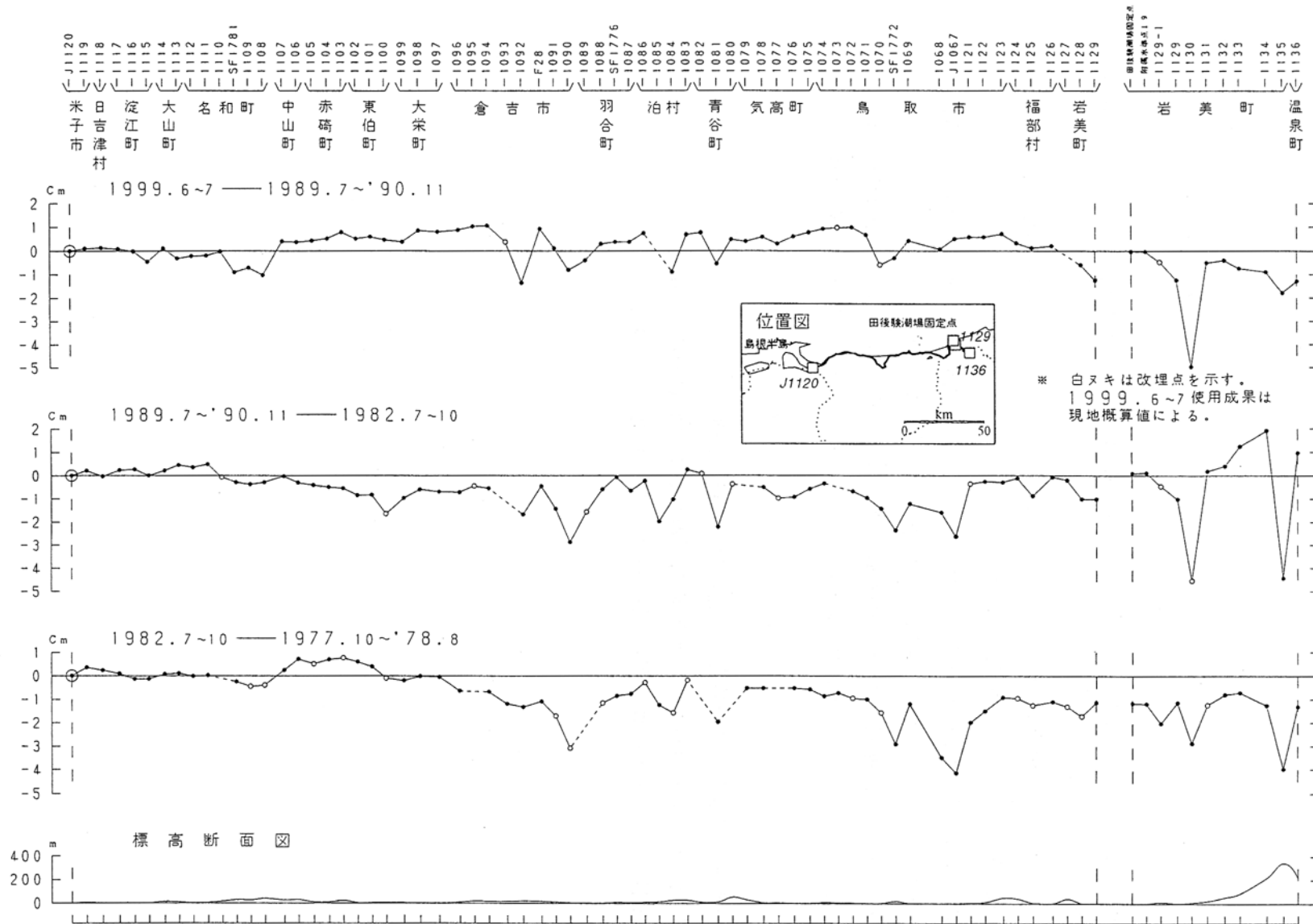
第2図は、中国地方を縦断する岩国市～益田市間の水準測量結果である。益田市側がこの約13年間に約4cm沈降したことを示す結果となった。

第3図は、四国地方東部瀬戸内海沿岸の善通寺市～阿南市間路線の水準測量結果である。善通寺市に対して阿南市側が若干の隆起（約2cm）の傾向を示す結果となった。

第4図は、四国川之江沖燧灘周辺のGPS連続観測結果である。この地域では1999年3月頃から、地震活動が始まり10月30日にM4.5の地震が発生した。GPS観測結果には、特に変動は現れていない。

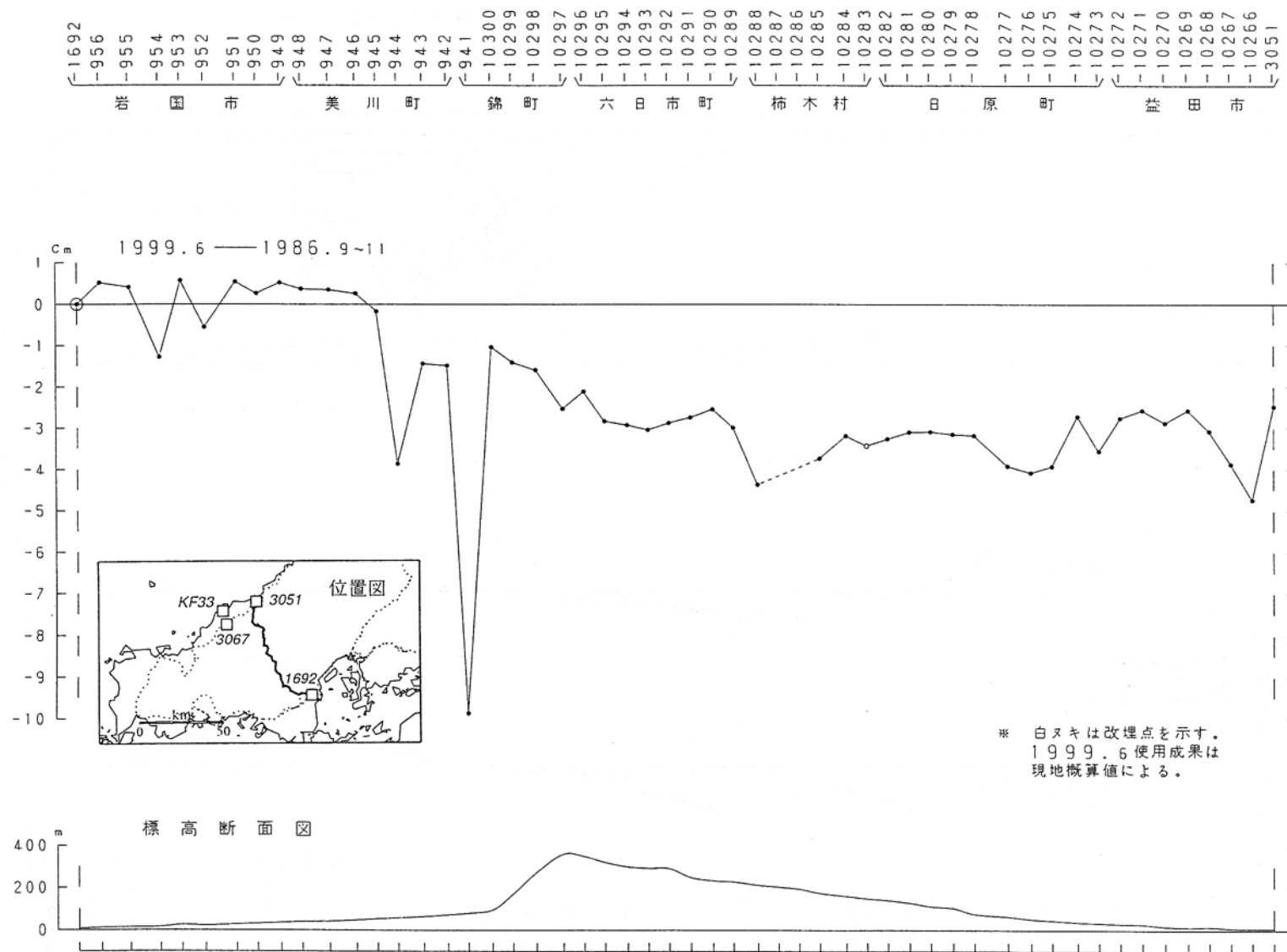
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中国地方の地殻変動，連絡会報，**43**（1990），473-485.
- 2) 国土地理院：中国・四国地方の上下変動，連絡会報，**45**（1991），436-442.
- 3) 国土地理院：中国地方の地殻変動，連絡会報，**47**（1992），421-427.



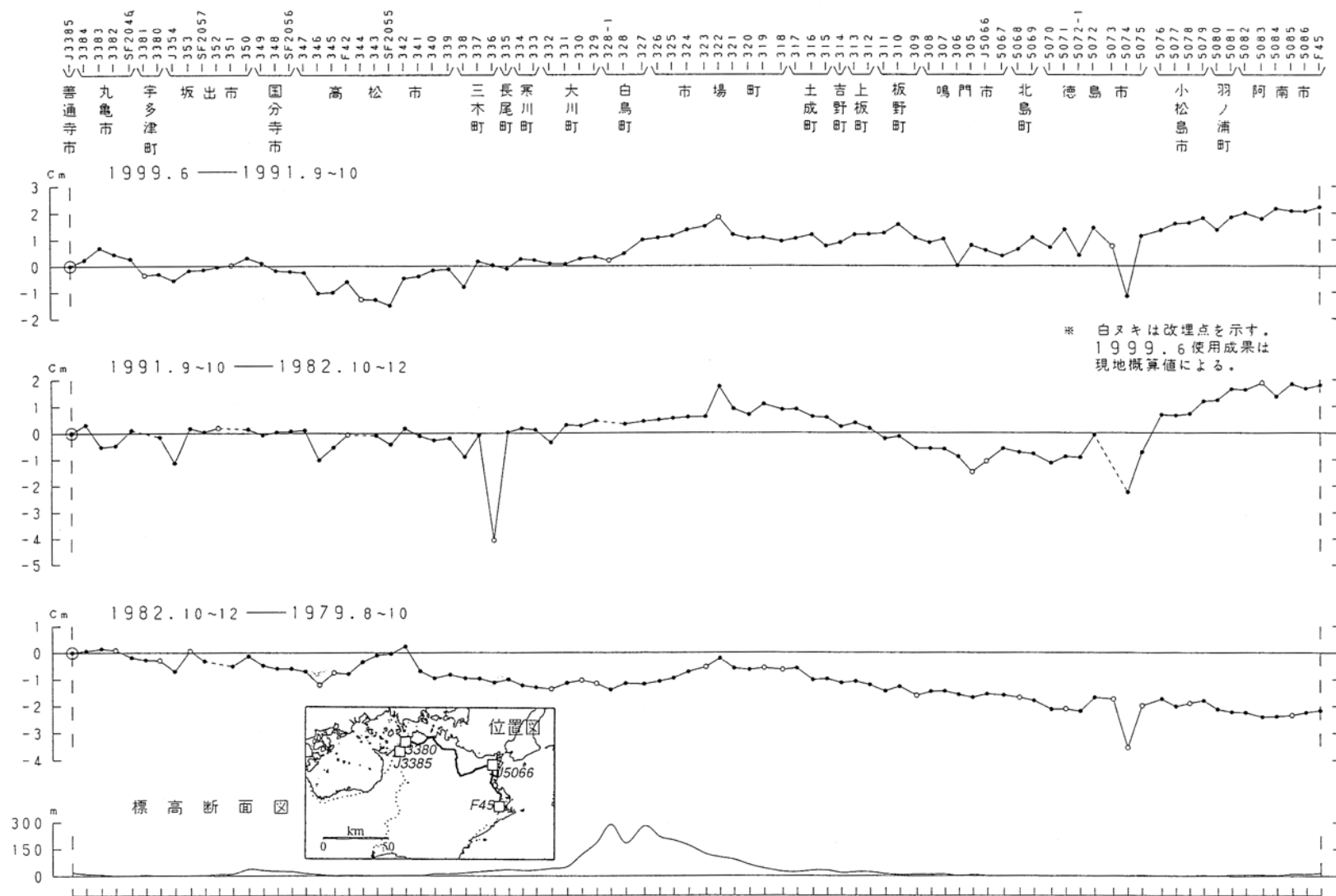
第 1 図 水準測量による中国地方の上下変動 (米子市 ~ 温泉町)

Fig.1 Results of precise leveling in the Chugoku district (from Yonago to Onsen).



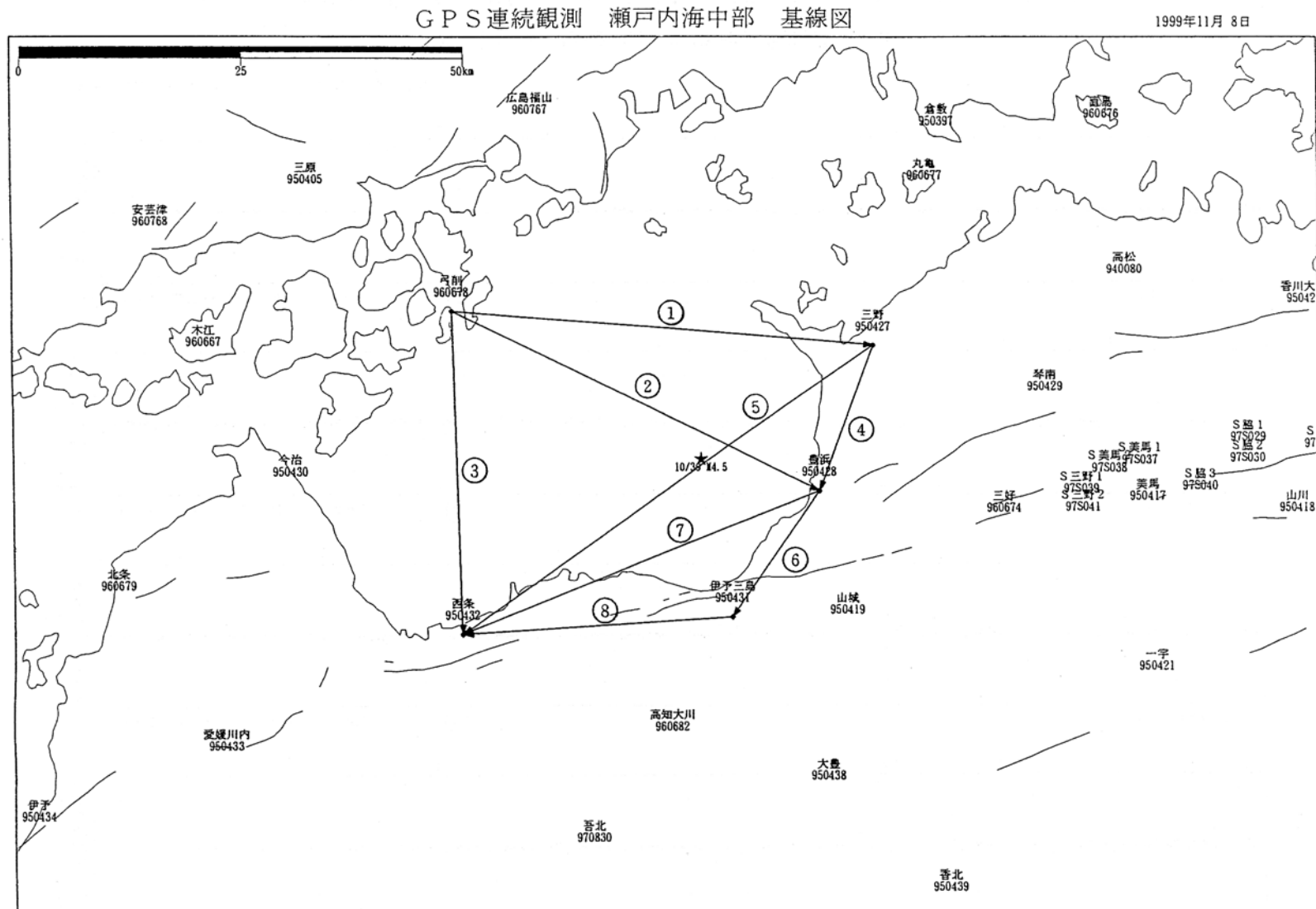
第2図 水準測量による中国地方の上下変動（岩国市～益田市）

Fig.2 Results of precise leveling in the Chugoku district (from Iwakuni to Masuda).



第3図 水準測量による四国地方の上下変動（善通寺市～阿南市）

Fig.3 Results of precise leveling in the Shikoku district (from Zentsuji to Anan).

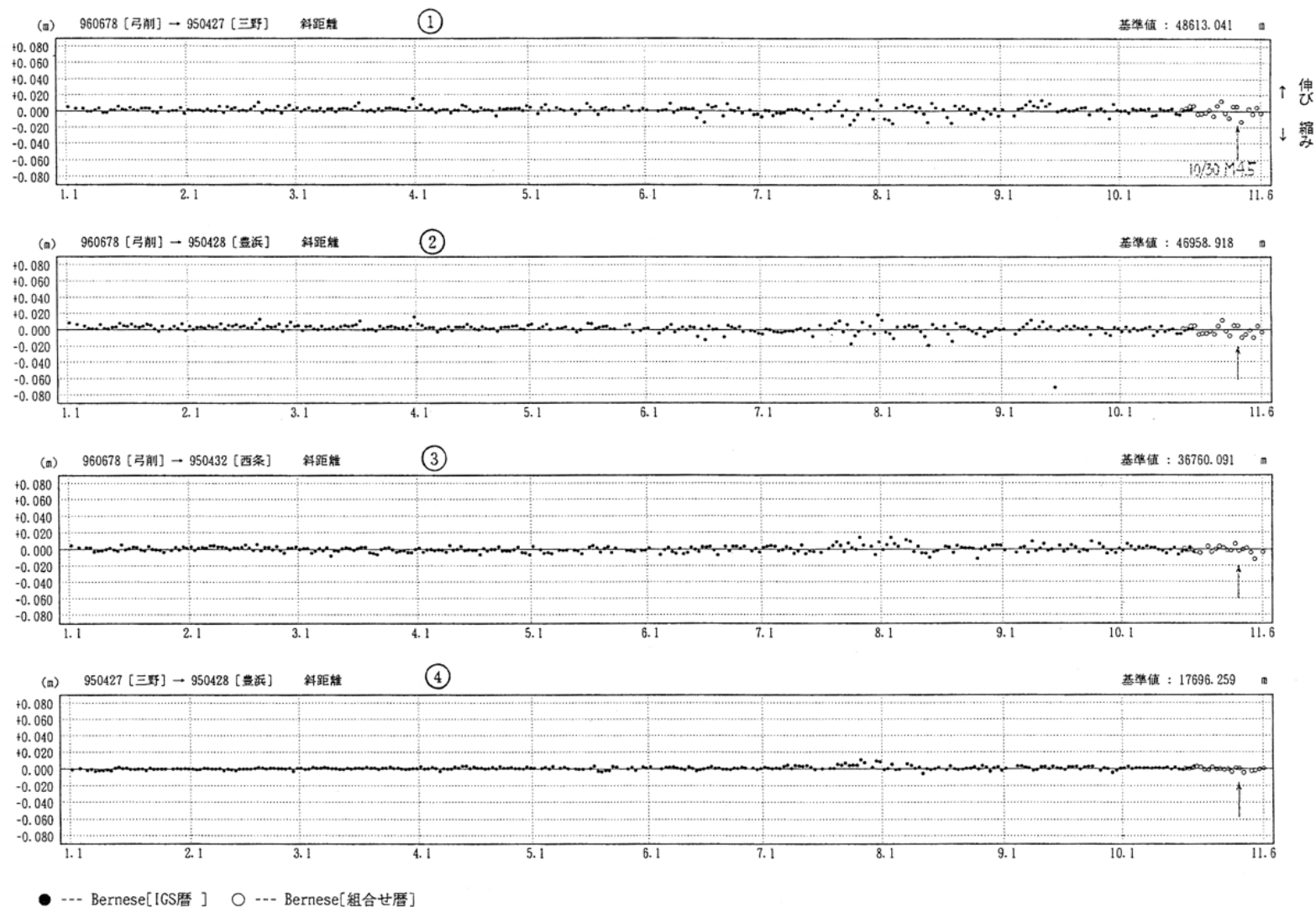


第4図(1) 燧灘周辺のGPS連続観測結果 (1)

Fig.4(1) Results of continuous GPS measurements in central part of Setonaikai (Hiuchinada) (1).

期 間: 1999年1月1日 ~ 1999年11月6日
座標系: WGS84

基線長変化グラフ

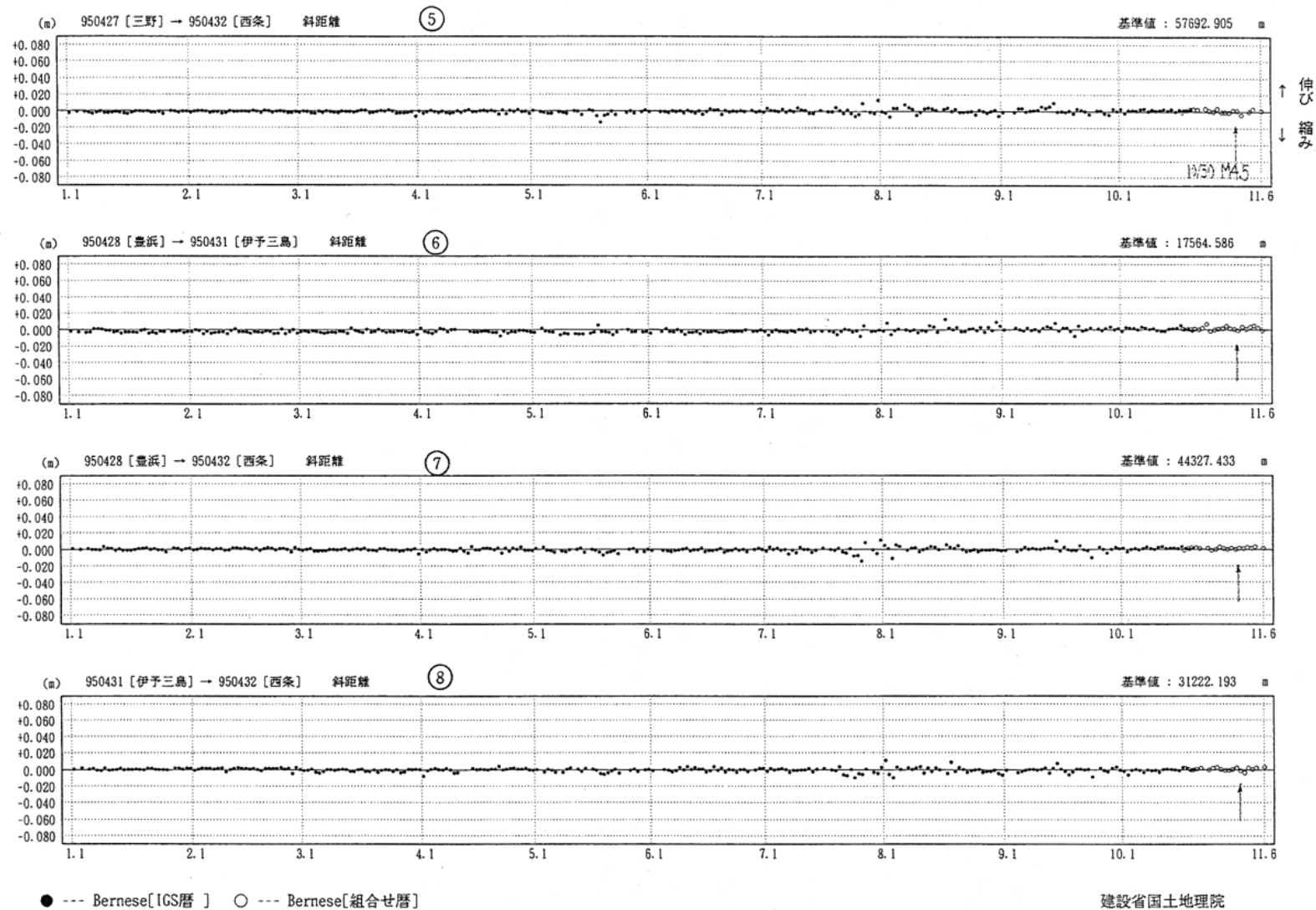


第4図(2) 燧灘周辺のGPS連続観測結果 (2)

Fig.4(2) Results of continuous GPS measurements in central part of Setonaikai (Hiuchinada) (2).

期 間: 1999年1月1日 ~ 1999年11月6日

基線長変化グラフ



第 4 図(3) 燧灘周辺の GPS 連続観測結果 (3)

Fig.4(3) Results of continuous GPS measurements in central part of Setonaikai (Hiuchinada) (3).